



八松小だより

学校教育目標

「心豊かな人間性を養い、自ら学び
自ら行動する子どもを育てる」
合言葉「私ってすごい！みんなすごい
やったぞ！できたぞ！の声がいっぱい！」



2025年（令和7年）10月号



仲間とともに挑戦する姿を見守って

校長 瀧谷 典子

まだ暑い日が続いていますが、秋の空気が心地よい季節となり、校庭からは子どもたちの元気な声が響いています。

いよいよ運動会の季節です。夏の暑さが少しやわらぎ、朝夕に涼しさを感じるこの時期、子どもたちは毎日、練習に一生懸命取り組んでいます。走るのが得意な子もいれば、そうでない子もいます。リレーの選手決めでは、走ること自体が苦手で「どうしても嫌だな」と思う子もいます。また、「選ばれるのが苦痛」と感じて不安になる子もいれば、その一方で、「ぜひ走りたい！」とやる気に満ちて張り切る子もいます。

表現についても、挑戦するのが好きな子もいれば、人前で体を動かすことに緊張を覚える子もいます。子どもたちは、さまざまな思いを抱えながらも、運動会に向けて練習を通して、一人ひとりが「自分なりに頑張ろう」と思い、クラスや学年の仲間と一緒に取り組む中で、必ず何かの成長をつかんでいきます。自分の精一杯の力を出すことにチャレンジする「学び」と「心の成長」の場でもあるのです。

今年11月に行われる「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が注目されています。耳が聞こえない、または聞こえない選手たちが、それぞれの工夫や努力を重ね、競技に挑む姿が世界中の人々に感動を与えています。たとえば陸上競技では、ピストルの音の代わりに光が点滅する合図や審判の手の動きを見て一斉にスタートします。バレーボールでは、声ではなく手話やジェスチャー、仲間の視線を感じ取りながら連携します。自分の力を発揮するために、他のものや仲間の力を借り、工夫しながら競技に挑むのです。その姿は、まさに「自分の力を信じ、仲間とともに挑戦する」大切さを示していると思います。そして、それは、運動会に臨む子どもたちの姿と重なります。大勢の前で演技をする勇氣、最後まで全力で走り抜ける気持ち、友だちの頑張りを一緒に応援する温かさ。どれもが、人の違いや努力を尊重する心につながっていきます。

さらに、今年の東京2025世界陸上競技選手権大会では、デフアスリートの湯川剛輝選手が、円盤投げに初めて出場し、多くの人に希望を与えてくれました。子どもたちの運動会もまた、一人ひとりの可能性を広げる場であってほしいと思います。

私は、子どもたちには「苦手なことに対しても、今やるべきことにしっかりと向かい合い、仲間とともに壁を乗り越えていってほしい」と願っています。仲間とのつながりやかかわりの中で、ともに育ってほしいと思っています。

保護者の皆様をお願いしたいのは、どうか結果だけではなく、そこに至る過程を認め、励ましていただきたいということです。「最後まで走りきったことがすごい」「大きな声で友達を応援できた」「苦手でも休まずに練習に参加できた」——そのような言葉が、子どもたちの心に大きな力となって残ります。頑張りを認めてもらえたという経験は、次に挑戦する意欲へとつながります。

運動会は一日限りの行事ですが、そこに込められた努力や経験は子どもたちのこれからは生き続けます。全員が「やりきった」と感じられることを大切に、互いの努力を讃え合える温かい一日となることを願っています。そして、その背景には、家庭での支えと温かなまなざしがあります。子どもたちが自信をもって次の学びへと歩みを進めていけるよう、私もみなさんと一緒に見守っていきたいと思います。

10月の目標

2学期の目標

みんなでなかよくたすけあいましょう

生活目標

協力して行事を楽しもう

保健目標

目を大切にしよう

給食指導の目標

たべものの働きを知ろう



10月の行事予定

体育館に空調設備が整いました

夏休み中から工事を進めてきた体育館の空調設備が、9月末に完成し使用できるようになりました。大きな室外機をコンクリートの基礎の上に据え付けるなど、本格的な工事が行われました。完成後は、これまで以上に快適な環境で体育館を使えるようになり、子どもたちの活動がぐっとしやすくなりました。

運動会スローガン決定！

今年の運動会のスローガンが決定しました。スローガンは、「赤組、白組 ファイトー発！」です。各クラスで意見を出し合い、代表委員会で話し合いを重ねた結果、このスローガンに決まりました。

「赤組も白組、みんなでどの競技も全力で力を合わせてよい運動会になるようにがんばろう」という子どもたちの思いが込められています。

運動会当日は、このスローガンのもとに子どもたちが力を合わせ、精一杯取り組む姿を楽しみにしていきましょう。

鑑賞教室のお知らせ

劇団ポプラ座公演「シンドバッドの冒険」

10月27日（月）、本校体育館で鑑賞教室を行います。今年は劇団ポプラ座による「シンドバッドの冒険」です。誰もが耳にしたことのある冒険物語が、舞台の上で迫力いっぱい広がります。

シンドバッドは、嵐の海を越えたり、不思議な島にたどり着いたりしながら、仲間とともに困難に立ち向かっていきます。

観ている子どもたちは、劇団の皆さんの演技や音楽、舞台装置を通して、どんなことを感じるのか、今から楽しみです。

保護者の皆様には、ぜひ鑑賞後にお子さんに「どんな場面が心に残った？」「わくわくしたのはどこ？」と感想を聞いてみてください。子どもたちが自分の言葉で感じたことを話すことで、舞台の体験がさらに豊かになります。

鑑賞教室「シンドバッドの冒険」が、子どもたち一人ひとりにとって心に残る楽しい時間となることを願っています。どうぞ楽しみにしてください。

配付した八松小だよりの通りです。

【11月の予定】



6年生 国会議事堂と東京タワーを見学しました

9月3日(水)、6年生が、社会科見学として国会議事堂と東京タワーを訪れました。

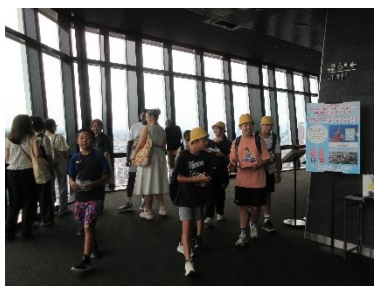
国会議事堂では、参議院特別体験プログラムに参加しました。このプログラムでは、法案が本会議にかけられる前に行われる「常任委員会での審議」の流れを模擬体験しました。議案は「食育の推進」についてです。農林水産大臣役や常任委員役の子どもが法案の説明をしたり、質疑応答をしたりしました。委員長役が議事を進め、その他の子どもたちは国会議員役となり、賛成か反対かを投票。結果は賛成が過半数を超えて可決されました。最後は議長役が決議結果を確認しました。



実際にどのように常任委員会で議論が交わされ、法案が審議されるのかを学ぶことができ、社会の仕組みを体感する貴重な学びとなりました。

東京タワーでは、遠くまでよく景色が見えました。下を歩いている人が、小さく、動いています。6年生は、眺めを楽しむだけでなく、外国人観光客に英語でインタビューにも挑戦しました。「Do you have a moment? (ちょっとお時間よろしいでしょうか?)」

「Where are you from? (どちらからいらっしゃったのですか?)」と質問すると、外国の方々も親切に答えてくださり、どこの国から来たのかシールを地図に貼ってもらいました。最後には「Thank you for your time. See you!」と笑顔でお礼を伝えました。子どもたちにとって直接英語で交流できる貴重な経験になりました。また、東京タワー関係者のご理解とご協力に支えられてインタビュー活動を行うことができました。様々な方々に感謝です。



下りはエレベーターではなく、階段を使って自分の足で降りるチャレンジもしました。普段はなかなかできない体験に、子どもたちは達成感を味わっていました。

3年生 藤沢市内めぐりに行きました!

9月18日(木)、3年生が、社会科の学習の一環として藤沢市内めぐりに出かけました。1学期には学区めぐりを通して地域について詳しく知ることができましたが、今回は範囲を広げて、藤沢市全体の特徴を学ぶ校外学習となりました。

国道134号線から湘南海岸周辺を車窓から見学。新江ノ島水族館や江ノ島が見えます。藤沢駅周辺は、市役所や郵便局、商業施設がたくさんありました。石名坂環境事業センターを通過して、湘南藤沢地方卸売市場を見学しました。卸売市場では、ふだん食べている生鮮野菜や果物がどのようにして家庭に届くのかを知ることができました。



その後、バスから桐原工業団地の周辺を見学して、秋葉台体育館でお昼を食べました。



御所見地区にある加藤園芸さんでは、花や野菜の栽培など仕事の内容について話を伺ったあと、数多くの植物を見せていただきました。子どもたちは一生懸命にメモを取り、熱心に学ぶ姿が見られました。



帰り道、ライフタウン地区をバスで通り、大規模開発された町の様子も車窓から見学しました。

学習を終えた子どもたちは「たくさんを知ることができて楽しかった」「もっと調べたい」と感想を話していました。これからの社会科の学習では、見学で学んだことをまとめて、市の特徴をさらに深めていきます。

読み聞かせボランティア とんぼ玉さんによるおはなし会

今年度も「とんぼ玉」の皆さんにお世話になります。9月は、1、2年生を対象におはなし会を開いていただき、絵本を読んだりお話をしていただいたりしました。本の内容は下の写真のとおりです。子どもたちは静かに耳を傾けながら、お話の世界に入り込み、想像をふくらませていました。

また、手あそび歌「むしかご」も紹介していただきました。両手の指を一本ずつ合わせていくと、手の中に虫かごができあがり、中で虫が「リーン」と鳴いている様子を表します。子どもたちも一緒に手を動かしながら、楽しく参加することができました。

本の読み聞かせや素話を通じて、子どもたちは物語に親しみ、ことばの楽しさや表現の豊かさに触れることができました。

心より感謝申し上げます。

<p>1年生 おはなし会</p> <p>〈えんぴつ〉</p> <p>ふしぎなナイフ 中村邦子/特筆画/さく 福田隆雄/丸 福音館書店</p> <p>アヒラからみこ 轟 基雄一/文 栗林雅/写真 福音館書店</p> <p>ババ、お月さまとって! エリック・カール/さく</p> <p>おひげの真夏日 川口松太郎/作 丸 出版</p> <p>アナンゴと五子 子どもの国から世界の国へ 大地藤丸/編 実業之日本社</p> <p>〈てあそび〉</p> <p>むしかご</p>	<p>2年生 おはなし会</p> <p>〈えんぴつ〉</p> <p>ひがねのつばき 早坂信枝/さく 福音館書店</p> <p>くしんぼうの母ごさん 谷口たけお/さく いしだいもこ/絵 福音館書店</p> <p>ガンビーさんのおはなし ジャン・ル・ヴィン/さく 福音館書店</p> <p>〈おはなし〉</p> <p>三枚のおみこ つかひへい/川 藤原信子/おはなしのうた/さく 3) 東京子ども図書館</p> <p>〈てあそび〉</p> <p>むしかご</p>
--	--

2025.9.10 とんぼ玉

第3回学校運営協議会

「通学時や在宅時に警報が出たときのために」

先日の学校運営協議会では、7月30日の津波警報が発表された日の状況について、情報を共有し、防災について意見を交わしました。その中で、「通学途中に災害が発生する可能性もあり、突然の警報音に驚き、パニックになってしまう子もいるだろう」「家庭で子どもが一人でいたら、どこへ避難すればよいのか判断できないのではないか」という声がありました。

地域の方の避難や安全が最優先ですが、もし通学途中の子どもを見かけたときには、可能な範囲で「大丈夫だよ」と声をかけていただければと思います。子どもが落ち着けるようなひとことが大きな支えになります。

また、日頃から家庭でもぜひ「もし警報が出たらどうするか」ということをお子さんと話し合っておきたいと思っております。

- ・学校が近いときは学校へ避難する
- ・自宅が近ければ家に戻って待機する
- ・家に大人がいない場合は学校（あるいは、家族で決めている場所）へ行く

など、家庭の状況に応じた行動の目安をあらかじめ確認しておくことが大切です。学校としても引き続き訓練や情報発信を重ね、地域と家庭と協力して子どもたちを守っていきたくと考えています。

火災避難訓練を行いました

9月22日（月）に理科室から火災が発生したという想定で避難訓練を行いました。放送をよく聴いて、子どもたちは担任の指示に従い、理科室から離れた避難経路で校庭へと避難しました。避難そのものは落ち着いて行動でき、短時間で全員の安全を確認することができました。

一方で、普段の訓練ではあまり見られない「おしゃべりの声」が一部で聞こえました。避難の際に守るべき「お・か・し・も」（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）のうち、「しゃべらない」が徹底できなかったのは残念な点でした。非常時には、一つの小さな声が全体の混乱につながります。訓練のあとには校長講話でこの点を振り返り、次は全員が静かに避難できるように改めて確認しました。

また、「もし先生がそばにいなかったら、自分でどう動けるかな？」「煙で前が見えなくなったら、どうしたらいいかな？」と問いかけをしました。

困っている友だちがいたら「いっしょに行こう」と声をかけるなど小さな思いやりが友だちの命を守ることにつながることを伝えました。

また、煙で前が見えない場合は、低い姿勢になり、口と鼻を覆って、手で壁を触って逃げるのが有効であることも伝えました。



6年生修学旅行「日光」

9月25日（木）、26日（金）、6年生が、楽しみにしていた日光修学旅行に出かけました。

1日目

バスで約5時間、最初の目的地・大谷川公園でお弁当をいただきました。ちょうど目の前をSLが通り、力強い汽笛と煙に子どもたちは大喜びでした。

見学では、世界遺産に登録されている輪王寺三仏像、日光東照宮、大猷院を訪れました。東照宮ではグループごとに「三猿」「眠り猫」「陽明門」「鳴龍」などを見学。特に、鳴龍の反響の不思議さには「すごい！」と驚きの声が上がりました。

宿では、女将さんをはじめ温かいおもてなしに迎えられ、美味しい夕食をいただきました。昨年来までコロナの影響で前向きでの会食でしたが、今年は向かい合わせに座り、互いに顔を見ながら食事ができるようになり、食事会場は和やかな雰囲気になっていました。お土産選びでは、「お母さんには何を買ったらいいかな？」と友達に相談する姿も見られ、家族を思い浮かべながら悩む子どもたちの姿が印象的でした。夜は友達と語り合い、カードゲームを楽しみながら思い出に残る時間を過ごしました。

2日目

二日目は華厳の滝を見学。見学後に降ってきた雨が心配されましたが、レインコートを着てハイキングに出発しました。山の天候の厳しさに触れることもまた貴重な体験となりました。

その後、時間の都合で「湯滝温泉の源泉で10円玉磨き」か「足湯」のどちらかを選んで体験。10円玉がピカピカになることに驚いたり、足湯で「気持ちいい！」と疲れを癒やしたりする子どもたちの姿が見られました。

お昼は三本松公園でのお弁当。雨の影響でバスの中で食べることにしました。子どもたちの好きなおかずがたくさん詰まったお弁当をおいしくいただきました。

保護者の皆様へ

大きな怪我や体調不良もなく、無事に修学旅行を終えることができました。これもご家庭での体調管理やご協力のおかげです。また、帰着の遅れなどでご心配やご迷惑をおかけしましたが、温かくご理解いただきありがとうございます。

子どもたちにとって、仲間とともに学び、自然や歴史に触れた2日間は、かけがえのない思い出になりました。

